

区立第二中学校プールの今後の活用方針について

区立第二中学校プール開放事業の利用者数は、平成28年の南部スポーツ・コミュニティプラザの開設後減少し、その後は概ね横ばいで推移している。

今回、区政の構造改革の推進にあたり、同事業について、利用者や関係団体、地域住民から意見聴取や利用状況の検証結果等を踏まえ、今後の活用方針について取りまとめたので報告する。

1 意見聴取及び検証等の結果

- (1) プール利用者や関係団体を対象に行ったアンケート調査や意見交換の中で、区立第二中学校プールの利用を今後も望む声が数多く寄せられた。
- (2) 南部スポーツ・コミュニティプラザはコース数が少なく、水深設定が容易な可動床が無いこと等から、障害者向けプール事業の実施数が少ない。このため、利用者等から、実施日数や回数の増加を希望する声があがっている。
- (3) 南部スポーツ・コミュニティプラザの幼児・小学生を対象とした水泳教室や大人を対象とした水中運動教室は、年間を通じほぼ満員の状況であり、地域における水泳へのニーズは非常に高い。
- (4) 区立第二中学校プールは、一般への開放事業の実施に関わらず、学校や部活動の利用のため施設の維持管理コストが継続して発生する。また、令和3年から令和5年にかけて大規模改修工事を行い環境整備を図る。

2 今後の活用方針

前述の結果を踏まえ、第二中学校プールの一般への開放事業については、区民サービスの向上や効率的、効果的な運営を目指し、区民の水泳へのニーズ等を踏まえた事業を実施することで、利用者の拡大と、施設の有効活用に取り組んでいく。

3 新規に実施する事業（案）

- (1) 障害児（者）向け水泳教室
- (2) 幼児・子ども向け水泳体験
- (3) 高齢者向け水中運動体験

4 今後のスケジュール

令和5年2月 第一回定例会において予算提案
4月以降 事業開始